

令和8年5月29日

保護者 様

愛南町立一本松中学校長 鉾岩 俊二

非常変災時の対応について（変更）

新しい防災気象情報の運用に伴い、警報が発表された場合、下記のような対応をいたしますので、御確認と御協力をお願いいたします。

記

1 登下校に関わる警報について

非常変災については、台風、豪雨、大雪、土砂崩れ等があります。その中で登下校に関わる警報は次のとおりです。

「レベル3大雨警報」「レベル3土砂災害警報」「暴風警報」「暴風雪警報」「大雪警報」

※ 上記以外の警報（波浪・レベル3高潮警報等）の対応については、その都度連絡します。

2 登校前に警報が発表された場合

(1) 6:30の時点で愛南町に、上記警報が発表されている場合は、**自宅待機**です。

(2) 午前中に警報が解除された場合や生徒の安全が確保でき、教育活動が可能と判断された場合は、その後の対応（「午後から登校」「臨時休業日にする」など）について連絡します。その自宅待機からの**変更を最終的に判断する時刻は11時を上限**とします。

※ 警報の種類や状況によっては、登校を指示する場合があります。

生徒のみなさんは、必ず、8:30にクロムブックに送られている指示内容を確認してください。

※ 警報が発表されていなくても、危険と判断した場合は、自宅待機させる場合があります。その場合も御家庭へ連絡します。

※ 学校から登校の指示があった場合でも、御家庭で危険と判断した場合は、登校せず、その旨学校に御連絡ください。

(3) 6:30の時点で警報が発表されている場合は、**町内一斉に給食は中止**になります。

3 登校後に警報が発表された場合

授業を続けますが、状況によっては早目に下校させる場合があります。

※ 生徒の迎えをお願いする場合があります。

※ 生徒の引き渡しは、玄関前で行います。

4 休日・祝日の部活動や課外体育

警報が発表されている場合は自宅待機とし、顧問からの連絡を待ってください。

5 その他

- 連絡は、「マチコミメール」で行います。メールが確実に受信できるように設定をお願いします。
- その他の警報（津波警報等）については、状況に応じてその都度、判断して連絡いたします。
- Jアラート等を通じて緊急情報が発信された場合は、「弾道ミサイルが落下する可能性がある場合」に取るべき行動」をとってください。

弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例

1 Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを通じて、防災行政無線等で特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか、緊急速報メール等によって緊急情報が発信されるので、メッセージが流れたら、落ち着いて直ちに次の行動をとることが求められる。

【屋外にいる場合の行動例】

- ・ 近くにできるだけ頑丈な建物や地下などに避難する。
- ・ 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

【屋内にいる場合の行動例】

- ・ できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

【自動車の車内にいる場合の行動例】

- ・ 車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難する。周囲に避難できる頑丈な建物や地下街がない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。

2 ミサイルが着弾した場合の行動例

- ・ 近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- ・ 弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。

**最新の気象庁ホームページの防災情報【キキクル（危険度分布）等】
を御確認ください。**